

2024 年度第 5 回運営委員会議事録

日 時：2024 年 12 月 5 日（木）15:40～16:20

場 所：大正大学

参加者：辺見純子（帝京大学）、柄田明美（国立音楽大学）、杉本若葉（慶應義塾大学）、  
岡本諒子（早稲田大学）、杉谷季咲（成蹊大学）、佐々木綾花（立正大学）、  
丸山 雄太（大正大学）

事務局：飯泉慎也、野村彩衣

欠 席： なし

※順不同、敬称略

議事概要：

1. 次年度以降の研修事業について

以下の項目について、確認がされ記載のとおり対応をすることとなった。

(1) 富士通Japan株式会社への研修依頼について

富士通Japan株式会社から提示された研修実施の条件が、研究部として継続的な対応が難しい内容であったため次年度は実施を見送りすることとなった。実施の見送りについて、事務局よりメールにて連絡を行った旨報告があった。

(2) 和漢古典籍コースの実施形式について

先日の合同会議の際に大学図書館支援機構より、和漢古典籍コースの研修の実施方法について確認があった。運営委員で検討を行い、今年度と同様にオンラインと対面を合わせた形で実施を依頼することとなった。回数の配分は講師に一任する。なお、受講者が遠方で対面参加が難しい場合は、オンライン参加のみも認めるということで確認がされた。

(3) 研修報告大会の実施について

先日の合同会議の際に大学図書館支援機構より、研修報告大会について特定の受講者への負担が大きくなっている旨、報告があった。この報告を受け、運営委員で実施方法を再検討し、以下のように変更するということが確認がされた。

- ・受講者は研修に参加した所感を報告する。
- ・講師は実施内容と提出された所感をまとめたものを報告大会で報告する。
- ・報告大会では講師が選んだ受講者 2～3 名も各自の所感を報告する。
- ・講師による報告に変更するため、研修は 6 月、7 月、9 月、10 月、11 月の合計 5 回とする。
- ・受講者は報告大会への参加を必須とする。

2. その他

事務局より次年度事業計画検討にあたり、これまで研修委員会で実施していた研修会を継続して行うかどうかの確認があった。運営委員より、研究部で実施する研修とテーマが重複の可能性が高いため、見学ツアーなどのイベントを企画してはどうかという提案があった。これを受け、その他として、加盟校の要望を踏まえ検討する旨記載することとなった。

配布資料：なし

以上